

かもまる通信



第12号

平成30年3月発行
発行：いわき総合図書館
〒970-8026
平字田町120
TEL22-5552

【図書館歳時記】「梅は咲いたか、桜は？」

磐城平藩、内藤家の第3代藩主、内藤風虎（ふうこ）が松山玖也（きゅうや）に編纂させた俳諧選句集『桜川』（延宝2（1674）年成立）には、当時の秀句7,000余句が収められ、江戸時代初期の俳諧の様子を今に伝えるものとして、高い評価を得ている。その『桜川』には鶯を詠んだ句も収められている。

「うれし鳴き声や鶯きちよ吉兆（きっちょう）」（釈・任口）、「ケキョ、ケキョ」という鶯の鳴き声を「きちよ、きっちょう」と、おめでたく聞きなしている。

「鶯の声に遊宴（うたげ）や花のもと」（中野林可）、鶯の鳴き声にひかれ、花のもとで盛大な宴を催したという。しかし、酒を飲み過ぎると、翌朝には「鶯の鳴けどもいまだ朝寝かな」（松山玖也）ということにも……。

いわき総合図書館長 夏井芳徳

おすすめの本紹介

「裁判の原点 社会を動かす法学入門」

大屋雄裕 || 著 河出書房新社



法学の入門書は、様々出版されていますが、本の内容が難解で面白と思う本にはなかなかめぐりあいません。

この本は「法学入門」とありますが、純粋な入門書というよりは、時事問題を法の側から解説したものです。読み進めていくうちに、法というものが何となくわかったような気にさせてくれます。これまでのいわゆる入門書とは一線を画し、一般的に法と裁判について持たれている常識のようなものを順を追って覆してくれるので、専門書としてだけでなく、読み物として十分に楽しめる一冊となっています。

「スマホゲーム依存症」

樋口進 || 著 内外出版社



この本は、日本で初めて「インターネット依存 専門治療外来」を開設し、その治療に携わってきた著者が、国内外の最新の事例をもとに、スマホゲームにはまってしまう社会背景やゲームの特性などの原因について分かりやすく解説し、依存症と判断する基準や治療法、依存症と診断された際の家族へのアドバイスなど、濃密に語っています。「スマホゲーム依存症」などの「ゲーム障害」は、WHO が認定した概念ですが、ゲームを嗜む方には、是非この本のガイドラインで自分を客観視し、ゲーム障害の予防に役立ててください。

「えんま様の格言 心の天気は自分で晴らせ」

名取芳彦 || 著 永岡書店



人の心や行いをすべて見透かす地獄の大王えんま様。えんま様の言葉は、煩惱で乱れた心をいましめ、甘えをビシッと叱り、悩みの元となるこだわりを気づかせてくれます。この本では、一行目に煩惱名と説明が書かれ、二行目以降、ときに叱りつけ、ときに優しく諭す、えんま様の言葉が続きます。例えば、嫉むという煩惱に対し、「人の足を引っ張る力があるなら、その力を、誰かの手を引き背中を押すために使いましょう」と諭しており、読んだ後には穏やかな心の領域が広がる一冊です。

「羊と鋼の森」

宮下奈都 || 著 文芸春秋



2016年 本屋大賞・キノベス 2016年大賞（紀伊国屋書店スタッフが全力でおすすめするベスト30冊）・2015年ランチブックアワード大賞3冠という史上初の作品で、映画化で話題になっています。ピアノの調律を仕事にした青年が、先輩たちやピアノを弾く双子の女の子たちと温かな交流をへて、人としても成長していく物語です。本の帯では「村上春樹のドライさと湿り気。小川洋子の明るさと不穏、二人の作家の魅力を併せ持った作品です。」と紹介されている、祝福に満ちた長編小説です。

貸出 TOP10

1	恋のゴンドラ	東野圭吾 著	実業之日本社
2	蜜蜂と遠雷	恩田陸 著	幻冬舎
3	駐在日記	小路幸也 著	中央公論新社
4	マスカレード・ホテル	東野圭吾 著	集英社
5	希望荘	宮部みゆき 著	小学館
6	劇場	又吉直樹 著	新潮社
7	コーヒーが冷めないうちに	川口俊和 著	サンマーク出版
8	コンビニ人間	村田沙耶香 著	文藝春秋
9	ナミヤ雑貨店の奇蹟	東野圭吾 著	角川書店
10	火花	又吉直樹 著	文藝春秋

予約 TOP10

1	マスカレード・ナイト	東野圭吾 著	集英社
2	おらおらでひとりいぐも	若竹千佐子 著	河出書房新社
3	蜜蜂と遠雷	恩田陸 著	幻冬舎
4	九十歳。何がめでたい	佐藤愛子 著	小学館
5	キラキラ共和国	小川糸 著	幻冬舎
6	漫画君たちはどう生きるか	吉野源三郎 著	マガジンハウス
7	おもかげ	浅田次郎 著	毎日新聞出版
8	この世の春 上	宮部みゆき 著	新潮社
9	この世の春 下	宮部みゆき 著	新潮社
10	屍人荘の殺人	今村昌弘 著	東京創元社

知っていますか？便利な図書館機能

【春は引越しシーズン。本やCD・DVDの返却はどこですか？】

借りた本を返すには市内の6図書館（総合、小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉）どこへでも返却が可能です。また、図書館が閉まっている時はブックポストを利用できます。ブックポストは6図書館の他、「いわき市文化センター」にも設置していますので、是非ご利用ください。なお、CD・DVDはブックポストへ投函すると破損する恐れがありますので、お手数でも図書館カウンターへ返却してください。図書館で借りた本が、うっかり引越しの荷物にまぎれこんでしまったりしていませんか？返し忘れがないか、もう一度ご確認ください。



シリーズ 数字で見るいわきの図書館

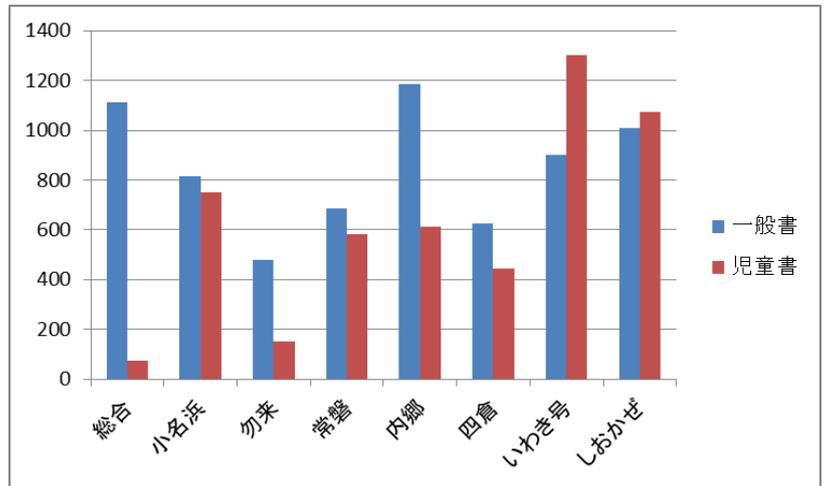
【平成28年度リサイクル図書】

11,810 冊

- 一般書 6,818 冊
- 児童書 4,992 冊

市立図書館で除籍した図書の中で、状態の良いものは、廃棄処分せずに、リサイクル図書として提供しています。

この中には、図書館での利用頻度が少なくなった小説や読み物、古くなった趣味娯楽の本や料理などの実用書も多く含まれており、関心のある方々の手に渡った後も、引き続き活用されているようです。

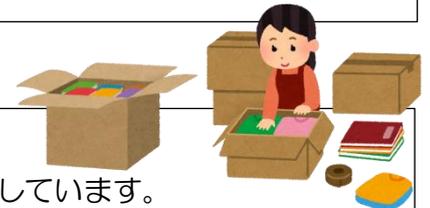


図書館豆知識

リサイクルコーナーをご活用ください！

いわき総合図書館をはじめ、市立図書館では本のリサイクルコーナーを設置しています。リサイクルコーナーでは、図書館のリサイクル本の設置場所の他、利用者の方どうしがご家庭の不要になった本の交換の場としても利用することができます。ただし、著しい汚れ、破損、書き込み等がある本や学習参考書、問題集、政治・宗教の布教及び特定の企業の営業等を目的とした内容の本はご遠慮いただいております。

3月は引越しが多くなります。不要になった本は眠っていませんか？その本を必要としている方がいるかもしれません。お気軽に市立図書館のリサイクルコーナーをご利用ください！



図書館からのお知らせ

【季節のかみしばいコーナーができました！】

いわき総合図書館では、4階子どものフロア 紙芝居の棚近くに、「季節のかみしばいコーナー」を設置しました。このコーナーでは、お正月や節分、節句や七夕、クリスマスなど、季節にちなんだテーマの紙芝居を展示します。特に、保育所や学校等、子どもの読書活動を支援する大人の方も利用しやすいよう、季節を少し先取りしています。展示された紙芝居は貸し出しできますので、ぜひご利用ください。



【レポート】1月から2月の催し物等

本の貸出福袋

いわき総合図書館では1月2日、地区図書館では1月4日の10時から貸出しました。福袋には図書館職員がそれぞれ練りに練ったテーマにそった内容の本が3冊入っており、どんな本が入っているかは開けてのお楽しみ。利用者の方々はテーマから想像し、自分好みの福袋を手にとっていました。



開館10周年記念事業

「読み聞かせボランティアおはなし会」

1月21日(日)いわき総合図書館4階よみかせひろばで午前・午後にそれぞれ開催し、66名が参加しました。小名浜、勿来、内郷、四倉の各図書館の読み聞かせボランティアの皆様が集い、総合図書館でおはなし会を開催しました。プログラムは、絵本の読み聞かせ、手あそび、紙芝居、パネルシアターなど、もりだくさんで、楽しいひとときを過ごしました。



古典文学講座

「奥の細道～岩手から山形へ～」

1月17日(水)、1月31日(水)、2月14日(水)の3回にわたり、いわき総合図書館4階学習室で開催し、約50名が参加しました。夏井芳徳館長が、芭蕉の『奥の細道』の句などから当時の生活や考えを読み解き、岩手県内や山形県内での芭蕉と曾良の足跡を追いました。

また、いわきの民俗学者・高木誠一が書いた『石城北神谷誌』の出羽三山にまつわるエピソードや西行法師の句が紹介され、参加者は熱心に話を聞いていました。



第2回 図書館くらしのセミナー

「見直そう、わが家の防火-家族で防火-」

2月19日(月)いわき総合図書館4階学習室で開催し、13名が参加しました。いわき市消防本部平消防署予防係の地引重雄主任主査兼係長を講師に、身近なところに潜む火の怖さ。併せて、住宅用防災機器等の有用性や、その設置、維持管理等について、事例の解説を示しながら、分かりやすい講義をしていただきました。参加者は身近に潜む危険を再確認していました。



【News】いわき総合図書館『らいぶらり寄席』を開催します！

いわき総合図書館では、伝統的な話芸の一つ、落語に親しむ場を通じて、幅広い年代の方々に、図書館の利用が豊かなくらしにつながることを認識するとともに、関連資料の利用を促すことを目的に「いわき総合図書館『らいぶらり寄席』」を開催します。

出演は今年1月にいわきに転入された落語家「山椒家 小粒」氏です。山椒家 小粒氏は北九州では高座の多さから「レジェンド」と呼ばれており、「鉄都で磨いた芸を復興の力にしたい」との思いで今回の寄席にご協力いただきました。3月1日(木)の10時から申し込み受付を開始しますので、「レジェンド」の小噺を聞くことができるチャンスです。ぜひお申し込みください。

- 開催日時 平成30年3月22日(木) 14時から15時まで
- 会場 いわき総合図書館4階 会議室
- 参加費 無料
- 対象者 高校生以上
- 定員 30名(先着順)

いわき総合図書館
らいうらり寄席

日時：平成30年3月22日(木)
午後2時開演(開場1時45分)
午後3時まで

場所：いわき市立いわき総合図書館
4階会議室

対象：高校生以上

出演：山椒家 小粒氏
(『噺の金じゃびむ いわき支店』
(浪江準備室) (浪江準備室))

演目：古典落語「辨せば」ほか1題

申込方法：30名 事前申込制(入場無料)

受付開始：平成30年3月1日(木)

【山椒家小粒氏 プロフィール】
区長補佐出身、20年間の東京勤務を経て、大船へ転勤。
2005年11月にNHKで放送された「噺の金じゃびむ」の活動を見て、参加を決定。
2002年3月、大船府高座で開演された高座市民落語会でデビュー。
2005年3月、北九州に転勤。
2003年8月、「噺の金じゃびむ 小倉支店」を旗揚げし、落語無類などでお前落語を行い、落語の楽しさを伝えている。
2018年3月、落語家いわきに転入。
『噺の金じゃびむ いわき支店(浪江準備室)』を旗揚げ

主催：いわき市立図書館
お問い合わせ先：いわき総合図書館 TEL 22-5552

図書館行事案内 (3月・4月)



おはなし会

【事前申込不要・入場無料】

- いわき総合図書館 (4階おはなしのへや)
 - 3月10日(土) 午前11時から
 - 3月24日(土) //
 - 4月14日(土) //
 - 4月28日(土) //
 - 小名浜図書館 (小名浜公民館2階会議室)
 - 3月10日(土) 午前10時30分から
 - 4月14日(土) //
 - 勿来図書館 (植田公民館3階視聴覚室)
 - 3月17日(土) 午前10時30分から
 - 4月21日(土) //
 - 常磐図書館 (常磐公民館2階和室)
 - 3月10日(土) 午前11時から
 - 4月14日(土) //
 - 内郷図書館 (内郷公民館2階和室)
 - 3月17日(土) 午前10時30分から
 - 4月21日(土) //
 - 四倉図書館 (チャイルドハウスふくまる)
 - 3月10日(土) 午前11時から
 - 4月14日(土) 午前11時から (四倉公民館)
 - // 午後1時30分から (ふくまる)
- ※都合により日程・会場が変更になる場合があります。

いわき総合図書館 展示棚のテーマ

- 4階子ども展示コーナー〈おはなしのへや入り口〉
 - 3月「はるのほん・どうぶつのほん」
 - 4月「この本よんだ?・はるのほん・科学道100冊」
- 4階テーマ展示コーナー〈生活・文学のフロア階段前〉
 - 3月「整える」
 - 4月「健康寿命をのばす!」
- 5階テーマ展示コーナー〈歴史・科学のフロア階段前〉
 - 3月「年度末」
 - 4月「昭和を振り返る」
- ビジネス展示コーナー〈歴史・科学のフロアトイレ前〉
 - 3月「ビジネスデータを考える」
 - 4月「新社会人応援『仕事のキホン』」
- 国際資料展示コーナー〈いわき資料カウンター脇〉
 - 3月「日本文化を知ろう」
 - 4月「外国語の絵本・児童書」



視聴覚資料上映会

- いわき総合図書館 4階 会議室 午後2時～
- 3月17日(土) 子ども向け
「くるみ割り人形」(80分)
 - 4月21日(土) 一般向け
「提督の艦隊」(104分)

